

チーム

東 中 学 校
女子バレーボール部通信
NO. 199号
1月14日(火)

前に進みながら...

◎それぞれの大会前ということと同時に、約半年後の中総体（夏の大会）に向けても重要な意味をもつ

◎目標を見失いがちな冬にどういった取り組みをするかが、夏の結果を左右することにつながります。

（課題）

- 常に大会をイメージすること
- どんな場面でも逃げないこと
- 練習してきたことに挑戦すること
- 『チーム』として雰囲気大切にすること



この3連休を前に、『チーム』198号」でみんなに伝えたことです。

2日間に渡って行った練習試合の中で、みんなの心の中にはどれくらい上の言葉が残っていたでしょうか。結果だけを見るならば、長久手南中に負け越したことを除けば、十分な結果でした。しかし、みんなにも伝えたように、先生にとっては満足いく内容ではありませんでした。きっとみんなの中にも、同じような感情が残っているのではないのでしょうか。ただ終わってしまったことは、取り返すことはできません。

前に進みながら反省し、改善していくしかありません。個人として、チームとして何が必要なのか、どんなことが求められているのか、今一度考えながら練習していきましょう。



【一年生大会のねらい】

『2年生が1年生を教える・サポートする』

今週末に行われる「一年生大会」のねらいの一つです。2年生は1年生が気持ちよく試合に臨めるように、リズムよく練習に取り組めるようにサポートしていきましょう。もちろん1年生は、必死にプレーすることが一番の恩返しです。

【保護者の皆さんへ】

先日は『親子バレー』にたくさんの方のご参加ありがとうございました。実際にお子さんと一緒にプレーする中で、バレーボールの楽しさ・難しさなど、いろいろなことを感じられたと思います。子どもたちも保護者の方と一緒にプレーする中で、改めてバレーボールの楽しさを感じることができた時間になったと思います。家に帰ってから、各ご家庭でも会話がはずんだのではないのでしょうか。

次回は毎年恒例の3月に行う『OG戦・親子バレー』になるかと思っています。ぜひ、次回もたくさんの方と一緒に気持ちのよい汗を流すことができたらいいなと思っています。よろしくお祈りします。

